



## GY-HC900CH ファームウェアアップデート(V0400)について

- ・追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。「取扱説明書」とあわせてお読みください。
- ・フレームレートの60pは59.94p、60iは59.94i、30pは29.97p、24pは23.98pをそれぞれ省略しています。

●は初期値です。

### 記録フォーマット“HD+Web”でのWebファイルの解像度に720p記録を追加

#### ■ “HD+Web”記録でのWeb側の解像度に720p記録を追加しました。

- ・ “HD+Web”記録モードを選択時、HD記録側が解像度1920 x 1080、フレームレート60p/50p/60i/50iのとき、Web記録側の解像度1280 x 720、フレームレート60p/50p、記録ビットレート 6Mbps (LP) が選択できるようになりました。

### SRTプロトコルに“ストリームID”と“FEC”を追加

#### ■ SRT (Secure Reliable Transport) プロトコルに“ストリームID”と“FEC (Forward Error Correction)”を追加しました。

- ・ SRTの場合、[ネットワーク]→[ライブストリーミング]→[ストリーミングサーバー]→[サーバー1～4]に以下の設定が追加になりました。

“ストリームID”：ストリーム識別子 半角英数字最大63文字

“FEC”：FEC方式 [設定値：●切、10x10、8x8、6x6]

- ・ “FEC”により再送なしでデータストリームパケット損失の回復が可能になります。  
一方、“ストリームID”により、複数のカメラが1つのデバイスに直接ストリーミングできるようになります。
- ・ SRTの場合のレイテンシ設定の初期値が120msでしたが、今回500msに変更になりました。  
レイテンシ [設定値：●500ms]

### ストリーミングのタイムコード方式に“VITC”を追加

#### ■ ストリーミングにタイムコードをのせる方式に従来のLTC (Longitudinal Time Code) 方式に加えて、VITC (Vertical Interval Time Code) 方式にも対応しました。

- ・ [TC/UB設定]→[TCジェネレーター]以下に次の設定が追加されました。  
“タイムゾーン”：タイムゾーン [設定値：●UTC、現地時間] (※1) (※2)  
“ストリーミングフォーマット”：タイムコード方式 [設定値：●VITC、LTC] (※1)

(※1) TCジェネレーターの選択肢が“FreeRun (NTP)”の場合のみ有効です。  
それ以外の場合は“---”と表示され設定できません。

(※2) NTPから取得した時間情報にタイムゾーン補正を行うかを設定します。  
現地時間：従来通りのタイムゾーン補正したTC  
UTC：タイムゾーン補正しないTC

### ライブストリーミングにインターレース形式を追加

#### ■ インターレースでストリーミングを行う際のフォーマットを追加しました。

- ・ 従来の設定である“フィールドペア”に加え、新たに“フィールド”を選択できるようになりました。  
ご使用されるデコーダーに合わせて選択してください。
- ・ [ネットワーク]→[ライブストリーミング]以下に次の設定が追加されました。  
“インターレース形式”：インターレース方式 [設定値：●フィールドペア、フィールド]

## RTMPSプロトコルに対応

### ■ RTMPS(RTMP over SSL)プロトコルを用いたストリーミングに対応しました。

- ・ [ネットワーク]→[ライブストリーミング]→[ストリーミングサーバー]→[サーバー1～4]→[タイプ]の選択肢に“RTMPS”を追加しました。

メモ：

“RTMPS”を選択中に使用可能なライブストリーミングの設定は、以下の通りです。  
(記録モードがH.264でオーバーレイ設定をしていない場合)

Resolution / Frame Rate / Bit rate

1920 x 1080 / 60p(50p) / 12M、8Mbps

1920 x 1080 / 30p(25p) / 8M、5M、3Mbps

1280 x 720 / 60p(50p) / 8M、5M、3Mbps

1280 x 720 / 30p(25p) / 8M、5M、3M、1.5Mbps

640 x 360 / 30p(25p) / 3M、1.5M、0.8M、0.3Mbps